

令和8年2月定例教育委員会議事録

(白石町教育委員会会議規則第16条及び第17条の規定により作成)

- 1 日 時 令和8年2月26日(木) 午前9時 総合センター2階(集団指導室)
- 2 出席委員 下平教育長 堤委員 松尾委員 川崎委員 一ノ瀬委員
- 3 事務局職員 久原学校教育課長 鶴田主任指導主事 永石新しい学校づくり課長
吉原学校教育課長補佐 川畑新しい学校づくり課長補佐
伊東生涯学習課長補佐 大串指導主事 古川教育総務係長
今福学校教育係長 山口学校給食係長 本山推進係長
大川内政策調整係長 武富指導主事 溝口主任 武富主任
- 4 教育長の報告 別紙資料のとおり
- 5 会議に附した議案
附議2号 有明小学校 学校医、学校歯科医、学校薬剤師の委嘱について
附議3号 白石町社会体育施設等に関する条例の一部を改正する条例について
附議4号 白石町フリースクール就学補助金交付要綱について
附議5号 令和8年度主要事業(案)について
附議6号 令和8年度準要保護の認定について
附議7号 令和8年度白石町内小中学校管理職配置について
附議8号 教育長職務代理者の指名について
- 6 動議の提出者 なし
- 7 議事の概要 別紙資料のとおり
- 8 議決事項 附議第2号議決
附議第3号議決
附議第4号議決
附議第5号議決
附議第6号議決
附議第7号議決
附議第8号議決
- 9 その他
・事務局からの報告

1 開会（久原学校教育課長）

久原課長から定例会の開会が宣言された。

2 前回議事録の承認

前回（1月）の議事録が承認された。

3 教育長の報告（下平教育長）

(1) 前回以降の主な動向

- ・1/27(火)：有明小学校の入学予定者説明会を開催。開校に向けた準備が進んでいる。
- ・1/28(水)：白石町商工会女性部より、生理用品等の寄贈を受けた。学校の保健室等で有効活用していく。
- ・1/30(金)：町史編さんの準備検討委員会を開始。北村前教育長を委員長に合併20周年を記念した新たな町史の編さんに向けて内容を精査していく。
- ・2/3(火)：AIを活用した英語教育の最終報告会を実施。小学校・中学校での取り組みが注目されており、来年度も継続する。
 - 〃：全日本ボクシング選手権の優勝報告。福富地区出身の貞松優華選手が日本代表としてブラジル大会へ出場予定である。
- ・2/7(土)：橋本大輝選手による体操教室を開催。多くの参加者で賑わい、素晴らしい環境での教室となった。
- ・2/12(木)：有明地区の学校運営協議会。150周年記念式典を経て、学校と地域の距離が縮まっている。
- ・2/14(土)：三十一文字コンテストの表彰式。全国から3,346首の応募があった。
- ・2/20(金)・24(火)・25(水)：有明地区の学校跡地施設利用に関する住民説明会を開催。関心の高い事項であり、慎重に進めていく。

概要の報告

インフルエンザ等の感染状況について。今年度はB型インフルエンザを中心に学級閉鎖等が相次いだ。爆発的ではないが、じわじわと広がる傾向にある。現在は落ち着きつつある。

教職員の人事異動について、令和8年度の新規採用は小学校4名、中学校2名を予定。人事異動の配置は概ね順調だが、個人の希望と組織の都合の調整が難しいケースもある。

令和8年度の教育指針と重点施策について、第4次総合計画に基づき、学校DXの推進、探究的な学びの充実、台湾・韓国との交流、多文化共生教育などを進める。部活動の地域移行については「白石ジュニアユースアクティブクラブ」を創設し、充実を図る。また、須古城跡の保存活用や町史編さんも重点項目である。

「立腰（りつよう）教育」について、中学校での事例を紹介する。姿勢を正すだけでなく、挨拶、返事、後始末の「しつけ三原則」を重視している。以前、生徒や保護者、来賓までもが「立腰」の号令で一斉に姿勢を正す姿を目の当たりにして感銘を受けた。このような日本人が大切にしてきた心根や立ち振る舞いを、白石町の教育でも大切にしていきたい。

4 協議・連絡事項

(1) 白石町教育大綱の改正について（武富主任）

白石町教育大綱の改定について説明。第4次総合計画の策定に伴い、教育大綱も整合性を図るため4年ぶりに改定する。基本理念は「人と大地が潤い輝く 豊穰のまち」を継続。基本目標の4番目「教育文化の向上 個性豊かな人と文化を育むまち」が教育分野の主軸となる。

重点的な取り組みとしては、

- ・全国学力・学習状況調査の結果などを新たな成果指標として導入
- ・コミュニティ・スクールの推進
- ・部活動の地域移行の推進
- ・須古城跡の国指定史跡化を目指す取り組みの明記
- ・町史編さん事業の追加

等で、大綱の基本方針を基にした重点目標の(10)「小中学校再編に関する取組」としていたものを「小中学校の新しい学校づくりに関する取組」とする。この改正案については、3月6日の総合教育会議において町長と最終協議を行い、正式に決定・公表する予定である。

(2) 問題行動等月別報告について（武富指導主事）

- ・不登校 小学校24名、中学校41名
- ・いじめ 小学校で覚知7件、認知7件、中学校で覚知2件、認知2件

(3) 中教審「論点整理」ポイント資料（概要版）（鶴田主任指導主事）

文部科学省のガイドラインに基づき、来年度も「自己調整型学習」の推進を重点に置く。学校訪問等で「自己調整型学習」になっているか、あるいはそこに向かって行っている授業改善になっているか、生徒が自ら決定・選択し、他者と協働する「複線型」の授業になっているかという視点で授業を見ていくと改善の方向性が見えてくる。

(4) 業務量管理・健康確保措置実施計画（案）について（鶴田主任指導主事）

給特法の改正に伴い、令和11年度までに時間外勤務を月45時間以内とする目標を掲げている。平均では小学校25時間、中学校30時間程度を目指す。対策として、来年度から「顧問弁護士（スクールロイヤー）」を活用するほか、4月に新設される町役場の「こども課」と連携し、福祉的支援が必要な事案を分担することで、教員の負担軽減を図る。

委員からは、目標達成のためには、部活動の地域移行や、部活動終了時間の見直しが不可欠である。夏季の活動終了が18時45分では、その時点で勤務時間を大幅に超過している。これを17時15分などに切り上げなければ、地域展開も進まない。保護者の意識改革も必要だとの意見や定時に帰れず、家庭に影響が出ている現状を目の当たりにしている。目標達成は必須であるという意見があった。それに対し、小学校では専科教員の配置を増やし、授業時間内に担任が事務作業を行える「空き時間」の確保を進めている。また、保護者対応についても、文科省の啓発資料を活用して「学校

は 24 時間対応ではない」という認識を広めていくと回答。

(5) 令和 7 年度末 白石町学校教職員退職者離任式について（鶴田主任指導主事）
配布してある通知について説明。また、その時の役割について確認。

(6) 県立・国立・私立中学校等への進学状況について（大串指導主事）
資料により説明。10 名合格となった。これによりクラス編制に影響があったかとの質問があり、クラス数は変わらずそのままと回答。

(7) 令和 8 年度佐賀県立高等学校入学者選抜特別選抜合格者について（大串指導主事）
資料により説明。この合格者数によりこれからの選抜の募集人数も確定されていくことになる。

(8) 第 29 回歌垣の郷ロードレース大会の申し込み状況について
（伊東生涯学習課長補佐）
選手の申し込み数が、今回は 1,665 名。昨年度に比べて 253 名多い。

(9) 部活動の地域展開について（本山推進係長）
資料により今後のスケジュールを説明。今年の 3 月にジュニアユースアクティブクラブ（JYACS）を立ち上げたい。今年の 8 月中体連以降に地域展開していく。令和 9 年度から JYACS での運営を本格化。早期の法人化を目指す。

(10) 白石町立小学校の教育環境について（本山推進係長）
来年度 4 月の有明小学校開校を控え、また白石町立小学校再編計画は中盤に差し掛かっている。改めて再編の原点に立ち返り、令和 12 年度の 3 校（白石・福富・有明）体制の実現に向けた教育環境整備を進める必要がある。具体的には、令和 8 年度に「町立小学校学校づくり検討会議」を開催する。対象は町内全 6 校の代表者（保護者、教職員等）であり、3 校への再編に向けた意見交換や各校の独自性の確認、教育環境格差の解消について協議する。ハード面では、福富小学校においては、令和 9 年度までに特別教室への空調設置やトイレの洋式化を完了させる予定である。また、令和 12 年度の再編完了後を見据え、通学支援（スクールバス等）の基準も全校で統一していく。

委員から検討会議の頻度や進め方はどうなるのかと質問があり、令和 8 年度は 2、3 回程度の開催を予定しており、その結果を踏まえて令和 9 年度以降は「白石地域新しい学校づくり準備委員会」へと移行していく流れを想定していると回答。また、代表者の選出は、学校運営協議会や PTA から行うということの確認もあった。

(11) 白石町スクールバス条例施行規則協議について（川畑新しい学校づくり課長補佐）
有明地域の小学校統合に伴う通学支援の基準を整理する。原則は「2.5km 以上の距離」だが、地理的条件や安全面から支援が必要と認められるケースがある。中学校

では地区を基準に決めていたが、小学校は別表は作らずに通学路の考え方を基に実測で判断し、その他集団登校での登校班が組めないなど、勘案が必要な場合は教育委員会が特に認めるものとして柔軟に対応したい。また、引っ越し等の事情で引き続き在学を希望する場合など、例外的に町外に居住しながら、町内学校へ就学する「区域外就学者」のバス利用については、対象外とする旨を但し書きとして追加したい。これらは3月の教育委員会で正式に改正案として附議する。

(12) 3月行事予定（古川教育総務係長）

3月行事予定により確認。

(13) その他

- ・令和8年度「学びの交流プロジェクト」（案）について（武富指導主事）

来年度も「ふるさと検定」「われら歌垣の郷っ子」「サムライ合戦 須古城の戦い」などの地域学習を継続する。新たな試みとして、「Dragoing Sports」と連携し、九州屈指の設備を持つ「ジムナスティクスホール白石」での体育授業を検討している。マイクロバスで移動し、スプリング床などの専門設備を活用した体づくり運動を行う計画である。

教育長より、地域資源の活用は非常に重要である。先日も佐賀大学工学部の准教授によるロボット教室が開催されたが、こうした大学や専門機関との連携を「しろいし学」の一部として統合していければ、より素晴らしい教育プログラムになると考えているとの話があった。

次回教育委員会 令和8年3月24日（火）9：00～
白石町役場3階 大会議室

5 議事

附議第8号 白石町教育長職務代理者の指名について

下平教育長より、堤教育委員を白石町教育長職務代理者として指名。

附議第2号 有明小学校 学校医、学校歯科医、学校薬剤師の委嘱について

今福学校教育係長 資料により詳細説明。令和8年4月1日から委嘱を行いたい。

委員全員承認（附議第2号）

附議第3号 白石町社会体育施設等に関する条例の一部を改正する条例について

伊東生涯学習課長補佐 資料により詳細説明。有明地域の小学校再編に伴い、令和8年3月31日をもって閉校となる有明西小学校の体育館を、社会体育施設として有効活用するため条例を改正する。名称は「有明西体育館」とし、使用料は他の施設と同様、1時間につき600円（半額300円）と設定する。3月議会に上程予定である。

委員全員承認（附議第3号）

附議第4号 白石町フリースクール就学補助金交付要綱について

吉原学校教育課長補佐 資料により詳細説明。来年度より町内にフリースクール「にじいろの蒼空」が開校することに合わせ、町内外のフリースクールに通う町内に住所を有する小中学生の保護者の経済的負担を軽減するための補助制度を創設する。補助金の額は、入学金1万円、通所に係る経費として月額最大3万2,000円を上限に交付する（教材費は対象外）。不登校により学校の「別室」や「コンフォートスペースあい」にも通えない子どもたちに学習の機会を提供することが目的である。委員からフリースクールの質の担保はどうなっているのか、誰かが勝手に作った施設でも補助対象になるのかという意見もあった。「にじいろの蒼空」は一般社団法人であり、活動内容も把握している。交付にあたっては、設置団体の実態やカリキュラムを慎重に確認し、適切に支援していく必要がある。先行の江北町や大町町についても参考にしつつ、運用していきたい。

委員全員承認（附議第4号）

附議第5号 令和8年度主要事業（案）について

久原学校教育課長 資料により主な事業を説明。

（学校教育課）

学校 ICT 教育推進事業： 電子黒板130台を一括更新（約6,300万円）。

また、GIGAスクール構想に基づく1人1台端末の更新（約1億900万円）を令和8年度に整備し、9年度に配布する。

学校給食食材費： 令和8年度より国の小学校給食無償化に伴い、小学校の給食費を完全無償化する。

学校給食運営費： 老朽化した配送車1台の更新、および異物混入対策としてセンター内カメラを設置する。

国際教育交流事業： 韓国・和順（ファスン）郡との教育交流として、事務局職員および教員各2名ずつの2回訪問を実施する。

（新しい学校づくり課）

部活動新たな環境づくり事業： 「ジュニアユースアクティブクラブ（JYACS）」の運営支援や地域おこし協力隊の任用を含め、1,816万円（前年比1,000万円増）を計上。

白石地域新設小学校施設整備費： 施設整備費として13億6,800万円を計上。2月23日より本格的な造成工事に入っている。

（生涯学習課）

歴史文化史編さん事業： 合併20周年を機に、新たな町史編纂をスタートする（約660万円）。旧3町の町史作成から

50 年以上が経過しており、完結までには 7～10 年程度の期間を見込んでいる。

旧有明公民館跡地整備事業：旧有明公民館と老人福祉センターの解体を実施（約 2 億 3,000 万円）。アスベスト除去費用が含まれるため高額となっている。跡地は駐車場として整備する。

施設改修：総合センターの音響・LED 照明改修、ジムナスティクスホール（旧福富中体育館）の雨漏り修理、有明体育施設のトイレ改修などを実施。

補足：令和 7 年度に引き続き、AI を活用した英語教育強化事業（約 1,300 万円）も継続予定である。

委員全員承認（附議第 5 号）

附議第 6 号 令和 8 年度準要保護の認定について

下平教育長 白石町教育委員会会議規則第 15 条による秘密会議宣言。

溝口主任 資料により詳細説明（3 件）

厳正なる審査の結果、3 件中 2 件認定、1 件不認定。

委員全員承認（附議第 6 号）

附議第 7 号 令和 8 年度白石町内小中学校管理職配置について

下平教育長 白石町教育委員会会議規則第 15 条による秘密会議宣言。

下平教育長より説明。

委員全員承認（附議第 7 号）